魔法の少女シルキーリップ

いままでにないゲームをめざして……ＲＰＧとアドベンチャーをたして２で割り、まるで１つのアニメ作品を見ているようで、しかもゲームとしての面白さを損なわない、そんな超ゼイタクな新作だ。

●RIOT日本テレネット／３月発売予定／7,400円／ＲＰＧ＋ＡＤＶ



アドベンチャー風味の魔女っ子RPG

これまたメガＣＤ期待の新作が登場。いよいよその全貌が明らかになってきた。このゲームはどんなゲームかというと、ＲＰＧとアドベンチャーの要素を含んだ新しいタイプのゲームなのよ（と、いきなりギャル言葉になる)。いろんなイベントをクリアしたり、ときには邪悪な敵と戦ったりして、主人公を立派な魔女にするのが目的なの。ゲームとともに成長していく主人公に、思わず感情移入するにちがいないわ。



感情コマンドによりゲームが進む

このゲームの大きな特徴は、コマンドなの。普通のＲＰＧだったら、「はなす」とか「しらべる」といったコマンドがあるでしょ。もちろんこのゲームにもそういったコマンドはあるわよ。でも今までにない「喜コマンド」、「悲コマンド」、「怒コマンド」という３つの感情コマンドを使うの。これらを選ぶことにより、話した相手を励(はげ)ましたり、怒らせたりするのよ。それにより、ゲームの展開も変わってくるわ。判断するのはアナタ。そう、アナタの「感情」がゲームに反映されるのよ。どう、すごいでしょ。たとえば、友人が若ハゲで悩んでいたりするときに、「喜コマンド」を使うと、相手を笑っちゃうことになって、ひどく傷つけたりしちゃうの。でも、笑って悩みなんか忘れるっていう場合もあるし、うーん、考えちゃうわねえ。

喜 コマンド ●相手の若ハゲを笑うと、スネたりするのだ。



悲 コマンド ●相手に同情すると、素直になったりする。



怒 コマンド ●怒らせると、相手もそれなりの反応が…



『BEEP! メガドライブ』1992年9月号付録掲載

全部で11のシナリオがあるヨン

このゲームはオムニバス形式で全11話の構成になっているのよ。ひとつひとつのお話をクリアすることによってリップもどんどん成長していくの。リップにはいろんな困難が待っているけど負けないわ。さあ勇気を出してGO!!



第1話「魔法の国からこんにちは」

リップは魔法の国で魔法の勉強をしていたの。ところがある日、魔法の国の王様"魔導覇王"に呼び出されて、リップを魔法の国の女王様候補にするっていうのよ。もうビックリ！それで人間界へ修行に行くことに…。

第2話「天才少女イザベラ登場！」

人間界の生活にもようやく慣れてきて、ちょっと一息。でも、リップの前にイザベラというナゾの少女が現れたの。どうやら彼女も女王候補のひとりみたい。強力なライバルの出現ね！大丈夫かしら、不安だわ。

第3話「リップのアルバイト」

ようやくリップにも親友と呼べる子ができたの。彼女の名は茶子。いい子なのよ。実は、彼女の家は古本屋なんだけど、お父さんが盲腸で入院しちゃったのよ。それでアルバイトをすることに…。



第8話
「ついに対決！リップVSイザベラ!!」

お正月、リップはシェイクおばさんとドメおじさんから晴れ着をプレゼントしてもらったの!! でも、偶然会ったイザベラと、とっくみあいのケンカになっちゃって……。

第7話
「魔法がばれちゃった!?」

季節はもう冬、クリスマスをひかえたある日、リップは街中で不良にからまれている茶子ちゃんを魔法で助けたの。でも!! その現場をドメおじさんに見られちゃって……と、どうしよう!!

シルキー・リップ色紙を大プレゼント!!

このBEEP／MEGA−CDを読んでいるキミだけに大サービス／この「シルキー・リップ」の声優さんたちのサイン入り色紙をプレゼント。ハガキにキミの



とってもかわいいリップのイラストまで描いてあるんだ。〆切は2月15日までだから早めに出そう。

第6話
「友情の二人三脚」

運動会。リップは二人三脚の選手。でも、練習中にパートナーの姉岸君がケガをしちゃったの／その代わりに、なんと、あのイザベラがリップのパートナーになっちゃったの。ちょっと気になるけど…。

第5話
「黒魔館の謎を追え！」

待望の夏休みがやってきた／リップたちは町のはずれの幽霊館、“黒魔館”を探検に出かけたの。ちょっとコワイけど、みんないるし大丈夫。肝だめしのつもりで探検にGOよ。さて、なにがおこるのかしら。

第4話
「なくなったペンダント」

もうすぐ1学期も終わり。学校でもプール開きになったの。水着に着がえているとき、大切にしていた魔法のペンダント“カルシアスのお守り”が失くなってしまった／これがないと魔法が使えない…。

※色紙プレゼントは当時のもので、応募期間は終了しています。

キャラクター紹介

リップを始め、このゲームの登場人物を大紹介しちゃお〜っと!
みんな個性的で、魅力あふれる人たちよ。(例外もいるけど…)



リップ ●声・山本百合子 アタシがリップ!応援してね

アタシの名はリップ・ゲルソーク・ゼングルクル。長いからみんなはリップと呼んでいるわ。魔法を修業するために、人間界にやってきたのよ。目標は魔法の国の女王様になること。小さいころからの憧れだったけれど、ホントに女王になれるかしら…人間の世界でこれからどうやっていけばいいのかしら…。



イザベラ ●声・久川綾 にっくきライバル!…でも美人

リップと同じく、魔法の国の女王になるために修業しにきてるの。なんでも、去年のジュニア魔法選手権のチャンピオンだというし、美人でグラマー。こりゃちょっと分が悪いわ。だからといって負けちゃいられないわ。ちょっとスました子で性格悪そうに見えるけど、ホントはいい子だとリップは思うな。



シェイク ●声・篠原恵美 大好きなおばさん、リップの先生

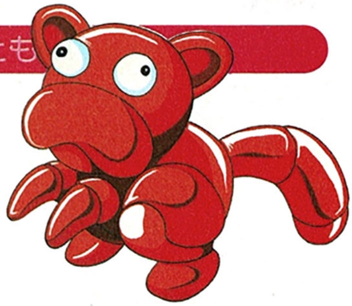
リップのおばさんよ。でもホントのおばさんじゃないの。じつは魔法の国の出身で、リップと同じように女王の修業にやってきたの。でも、人間の男の人と恋に落ちてそのまま人間界に残ったの。ね、ロマンチックでしょ。いまは魔法界と人間界の橋渡し役をしているのよ。つまり、アタシのマネージャーってわけ。



ドメ ●声・若本規夫 アタシのやさしいおじさん!

シェイクのダンナ様。人間界ではこの人がアタシのおじさんよ。世界的に有名なファッションデザイナーなの。ちょっと変わっているけど、とってもやさしい人なのよ。もちろん、リップの良き理解者といったところね。意外とすてきな人よ。

ケチャ ●声・屋良有作 リップの人間界でのおとも



魔法の国にいる聖獣のなかでも珍しい、「獣変換後転移症候群」の仲間に入るヤツなの。ちょっと口やかましいけど、魔法の知識にくわしいし、人間界のこともいろいろ助言してくれるわ。なぜかコンニャクが好きなんですって。変なの。



茶子 ●声・高山みなみ リップのいちばんの親友！

リップの大親友。ものすごく楽観的で、アタシは何度彼女に力づけられたことか。おっきな丸メガネがチャームポイントで、クラスの人気者。彼女の家は古本屋さんで、よくお手伝いをしてるみたいよ。同じクラスに好きな男の子がいるみたい。リップは知ってるんだけどね。ウフフ…。

城ケ谷先生 ●声・鶴ひろみ すごい美人の先生！ でも…



リップの通っている世田谷区立桜丘小学校の先生。担任なの。見てわかるように、すっごい美人でしょ。学校のマドンナともいわれているの。でも、あんまりリップたちのことが好きじゃないような気がするんだ。別にリップたち、何も悪いことしてないのに。こんど、みんなで先生のところに遊びに行ってみようかしら。そうすれば、少しは打ち解けるかも…。



ハゲタンク ●声・龍田直樹 イヤーなガキ大将、フン！

リップのクラスメイトだけど、ホント、イヤーなヤツ！　頭にいまどき珍しい10円ハゲがあるのでこの名前がついたの。なぜかリップにいやがらせをしてくるのよ。魔法でやっつけてやりたいけど、人間相手にするわけにもいかないし、フウ、困った困った。

サル ●声・柏倉つとむ ハゲタンクの子分、サイテー！

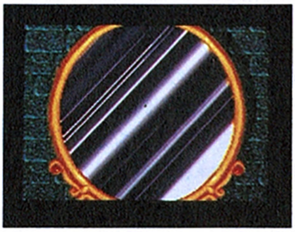


ハゲタンクみたいなヤツにも子分がいるのね。いっつもハゲタンクのそばにくっついてペコペコしてるのよ。なんだか薄笑いを浮かべてフラフラしてるから、ちょっと気味悪いわね。でも、こいつは、リップが魔法使いじゃないかと疑っているようなの。バレると大変なことになるから、用心しなくちゃ。

オープニグも超かわいい

このゲームはメガＣＤで出るのよ。え？　そんなことわかってるって？　そりゃそうね。でも、あえてリップが言いたいのはメガＣＤの威力が十二分に生かされた演出がほどこされてるってこと。それはオープニングのグラフィックにもよーく現れているわ。下の写真を見てもらえればわかるけど、鏡をのぞくとパッとアタシのいる町の風景が見えるの。実際に動く画面で見るとどんな感じになっているのかしらね。それはアナタがこのゲームを買ってのお楽しみ。

それから、このオープニングを見てると、ちょっと懐かしい気にならない？　そう、「魔女っ娘メグちゃん」とか「魔法のマコちゃん」の雰囲気なのよ。ホント、超かわいい！



思わず、「鏡よ鏡よ鏡さん…」と言ってしまいたくなるわね（古いかしら）。



ほら、町が映った！　このバックにどんな音楽がかかるのかしら。



そして、このあとタイトルがかわい～く出ます。さあ、始まり始まり。

MAP画面も見せちゃおっと！

まだ開発中だけど、とっておきのＭＡＰ画面をアナタだけにお見せしちゃおう。リップの家の周辺の画面よ。色使いがとってもキレイよね。リップの住んでいる町は、実際にある町をモデルにしているのよ。



ここはリップの家よ。一番左の部屋にリップがいるわよ。



ここは3階。リップの部屋がこの階にあるの。いいトコでしょ。



ここはお庭。結構キレイな庭だわ。これでアタシの住んでいる家がわかるね。

もちろん会話シーンもグー

会話シーンはこのゲームのウリのひとつよ。普通の会話は今までのＲＰＧと同じようにメッセージ画面が出てくるのだけれど、重要な会話になったら、「会話モード」になって、セリフの応酬（おうしゅう）になっていくの。



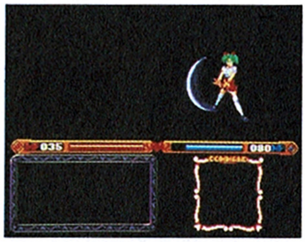
普通の会話はただのメッセージ画面だけど、ここでは、しっかり情報を収集すること。それが大事ヨ。

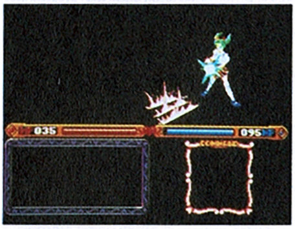


ここで「喜び」、「悲しみ」、「いかり」といったコマンドを使うのだ。

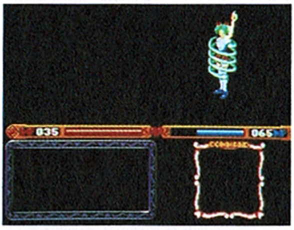
戦闘画面もアニメのよう

いよいよお待ちかねの戦闘シーンの大公開よ。リップ、他人と戦うなんてあんまり好きじゃないけど、りっぱな魔女になって、魔法の国の王女様にならなくちゃならないし…がんばらなくちゃね。とにかく戦闘シーンというのは、ここでは「魔法モード」と呼ばれているの。このモードはゲームシナリオ上、重要な場面で現れるのよ。魔法の種類は、「攻撃」、「防御」、「回復」の 3 種類があるわ。

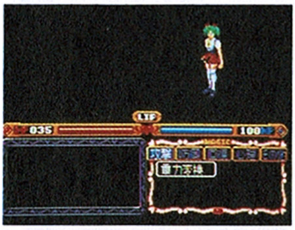




これは、リップが魔法で攻撃しているところよ。カッコいい！



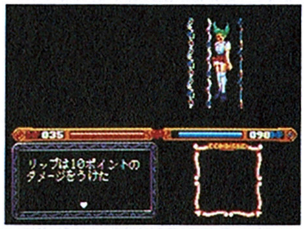
これは、リップが反対に魔法をかけられたところなの。ちょっと情けないわね。



魔法を選択している画面よ。どんな魔法を使うか考えなくっちゃ。



魔法を使って、相手にダメージを与えているところ。やった！



あーあ、ダメージ受けちゃった。これではダメ。もっと修業しなくちゃ…

シルキーリップ主題歌を大公開！

この主題歌は、リップの吹替えをやっている山本百合子さんが歌っているわ。とってもかわいい歌だから、みんな覚えてね。

リラルル　ラリルル　リラルル　リップ
リラルル　ラリルル　リラルル　リップ
リップは　魔法の女の子　リップ　リップ　こんにちは

年頃だもの　いろいろと
悩み事ナド　ありますけど
毎日出会う　サプライズ
くよくよしてる　暇は無いの

ああ　世界のどこかで　めくるめく　ときめきが
まっている

リラルル　ラリルル　リラルル　リップ
リップは　魔法の女の子　リップ　リップ　こんにちは

ちょっと息抜き、リップ劇場

このゲームはオムニバス形式で11のお話が続くんだけど、それぞれの話の合間に「リップ劇場」という、4コママンガ風のアニメシーンが登場するの。それをちょっと紹介ね。



その1 ケチャのおどり

ケチャの仲間たちが夜、森で酒を呑みながら宴会をしているわ。つい調子にのった3匹が踊り狂い始めちゃったわ。あーあ、まったくしょうがないわねえ。





その2 イザベラのカミナリ

リップが楽しそうに歩いていたらいきなり、空からカミナリが落ちてきたの。まったく、いったいだれの仕業かしら？　やっぱ、イザベラかな。そうだとしたら、許さないわ！





その3 イザベラの水着

フン、どーせリップはスタイル良くないわよ。いいわねえ、アンタはグラマーで。でも、だからって見せびらかさなくてもいいじゃないのよ～！キーッ！アンタって人は！もお。



その4 温泉

リップとイザベラがこの間、温泉に入っていたの。そのとき、どうもノゾかれている気がしたのよね。どうやらサルがノゾいていたらしいわ！　キーッ！　アンタも許さない！





その5 おかし

アンタって人は、今度はリップの目の前でお菓子を食べるなんて。せっかく甘いものひかえようと思ってたのに、リップも食べたくなっちゃうじゃない！　ううっ、食べたい！





シルキーリップの舞台をたずねて…

〜自由が丘へGO！〜

シルキーリップの舞台は、東京・世田谷区にある自由が丘を舞台にしているの。そこを訪れたのよ。

ハ〜イ／　リップで〜す／　気持ち悪がっちゃイヤン。体は男みたいだけど正真正銘のリップよ。道行く人はみんなアタシのことをクスクス笑うけど、きっとアタシの美しさにヤいてるのね。フフン。今日は「シルキーリップ」の舞台のモデルになった、東京・自由が丘にやってまいりました。「アンナミラーズ」とかいろんなオッシャレー（死語）なお店があってホント、グーな町よ。だから、読者のみ



駅前のロータリーでアイスを食べて、ハイ、ポーズ！　アタシ、キレイ？（これも死語）。



んなも、この町を歩いてみてからゲームをすると面白さがグ〜ンと増すかもしれないわね。それにしても、この町、アンティックなお店があるかと思うと、西欧風のテラスつきのカフェがあったり、イタリアのヴェニスのようなゴンドラがお店の前にあったりするのね。ホントにここは日本かしら、と錯覚しちゃう。繁華街を外れると、そこはもう閑静な住宅街。このあたりはゲームのなかにもいっぱい取り入れられているみたいよ。そして、その住宅街のなかに、これまたいい感じの公園があったりするの。そこはいかにもいいとこのガキ…いや、お子様がお上品に遊んでいたりするのよ。そこにいたお子様はアタシを見てビックリしてたけど、きっとアタシがあまりにもキレイだったからに違いないわ。まあ、普段、アタシもこんな感じで明るくふるまっているけれど、これでも結構悩んだりするのよ。ホントよ。

